



千葉 嘉春

一般社団法人東北経済連合会 副会長

W I T H コ ロ ナ ・ 国 土 強 靱 化

新型コロナウイルス禍の中、令和2年九州豪雨により、多くの尊い命が奪われ、河川堤防が決壊するなど過去に類を見ない甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになりました方のご冥福をお祈りすると共に被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

有史以来、人類は、疫病と闘い、日本列島で暮らす我々は、地震をはじめとする自然災害と向き合う等脆弱な国土で生きていく宿命にあります。

今まさに国難ともいわれるコロナ感染拡大は、東北地域においても観光・サービス・生産活動に重大な影響を及ぼしております。特に、7月に入り、東京都を中心に感染拡大が急増しております。

これからAIの時代を迎えますが、コロナ等疫病や地震、線状降水帯による豪雨や台風などの自然災害は止めることができません。

しかし、人間の知恵で予防することは可能です。疫病に関しては、個人は、三密を避ける。マスク・手洗い・うがいの習慣を身に着けること。国としては、医療体制の充実、新薬の開発研究等の予算の確保です。

自然災害等については、今後、防災・減災・国土強靱化のための5ヵ年、10ヵ年計画が不可欠です。併せて、経済活動の生産性向上や地元雇用の創出によって地域経済の活性化を図り、東北全体の持続的な発展を実現するため、社会資本整備重点5ヵ年計画、10ヵ年計画を策定し、国民が安全・安心に暮らせる将来像を示し、質の高い社会資本整備を構築しなければなりません。

新型コロナウイルスの収束に向けた行動を国民一人一人が実践し、感染拡大によって生じた東北の経済の減速、地域間格差を是正し、限りなく魅力溢れる東北の観光資源の活用や、公共投資によって経済成長を支えていくことが重要です。国土強靱化と地方創生のさらなる強化と加速が望まれます。

結びに、東日本大震災発生より10年が経過し、この大震災で得られた教訓が風化しないように次の世代に伝承する役割を果たして参ります。

(東北建設業協会連合会 会長・ちば よしはる)